

小学校 第5学年 音楽科 「和音に合わせてせんりつをつくろう」

育成を目指す資質・能力について

音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、旋律を工夫し、即興的に表現することを通して、音楽づくりの様々な発想を得ている。【思考・判断・表現】

授業の概要

流れ	児童
①	I IV V の和音の構成音やひびきについて確認する。
②	・C-F-G-Cの和音の移り変わりに合わせて教師が示す旋律例を聴き、気付いたこと・感じ取ったことを発表し、教師が示した旋律の改善方法を考える。
③	タブレットの「Garage Band」の「Smart Piano」を使い、C-F-G-Cの和音進行を聴きながら旋律をつくる。
④	グループで録音した旋律を聴き合い、気付いたことを交流する。
⑤	全体で共有する。聴く人はまねしてみたい点、自分だったらこうしたいという視点を持って聴く。
⑥	学習のまとめを行う。同じ和音進行で旋律をつくったが、一人ひとり違う旋律が出来上がったことを確認する。

【活用したソフトや機能】

・タブレット端末 ・GarageBand (アプリ)

【ICT活用の場面】



【事例におけるICT活用のポイント】

旋律づくりの手がかりをおさえ、個人で活動ができるようにしました。また、和音進行を事前に録音しておき、和音進行に合わせて児童が何度も試しながら即興的に演奏しました。完成したら、旋律も合わせて録音しました。個人の技能に合わせて、和音を再生する速さを変えて試しました。

- ① 鍵盤の演奏が難しい児童には、OHPシートで作成した鍵盤と階名を書いたものを渡す。
- ② 和音進行や旋律を確実に録音できるよう、アプリ操作の練習をしておく。
- ③ 旋律づくりの際、活動の様子を見取るため、ヘッドフォンの使用は控える。